

料金別納



SHI RYO KAI 茨 陵 会

大阪府立茨木工業・工科高等学校同窓会新聞 第9号

2017年10月10日発行

茨陵会事務局

大阪府立茨木工科高等学校内
〒567-0031

茨木市春日5丁目6-4 1

TEL : 072-623-1331

FAX : 072-623-0652



文化祭のお知らせ

第55回文化祭を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

入場には招待券が必要ですが、卒業生の皆様は当日受付にて、名簿に卒業期とお名前をご記入いただきますと、ご入場いただけます。

日時：平成29年11月11日（土）10時より

茨木工科高校のホームページ

<http://ibaraki-kouka.jp/>

茨陵会のホームページ

<http://www.shiryokai.com/>

ごあいさつ



茨陵会会長 本津 茂樹

茨陵会会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は茨陵会会長をお引き受けして3年目になります
茨木工業高校 6 期 E 科卒業生の本津茂樹と申します。
どうぞ宜しくお願い致します。

茨木工科高等学校は1963(昭和38)年に10番目の府立の工業高等学校として産声を上げました。私が在学していました1960年後半の工業高校は、工業技術の科学的根拠を学び、高度経済成長期に不足している中堅技術者の養成を行うことが目的でした。しかし、その後バブル経済が崩壊し、技術の国外流出や日本の製造業の弱体化によりその役割は大きく変わり、ものづくりへの興味や情熱を持つ生徒の受け入れや、付加価値の高い製品を作ることのできる、より専門性の高い技術者を育成することが目的とする機関へ変貌しました。これに合わせて、母校は、2005(平成 17)年に工科高校に再編成されました。また、高校では進路の多様化にともな

い進学と就職の両方を見据えた教育指導や進路指導が確立され、専門学科への進学教育、普通科への専門教育の導入が行われ、母校も2014(平成26)年にこれまでの機械系、電気系、環境化学システム系の3つの専科に新しく工学系大学進学専科を設置し、大学進学によりさらに高い専門性を持った技術者の育成も視野に入れる高大連携型重点校に発展しました。現在、卒業生は1万5000名を超え、産業界をはじめ官公庁、自営業等において多くの卒業生が活躍され、広く社会に貢献されており、まさに伝統校の域に入ってきていることは、卒業生としては誠に喜ばしい限りです。

話は変わりますが、私は母校の学校協議会委員として前辻井校長や現田尻校長をはじめとする先生方の頑張りや熱心なご指導で変わっていく母校を見てまいりました。生活指導、資格取得指導、進路指導、クラブ活動指導と本当に頭が下がる思いです。昨年度は就職内定率100%、各種資格取得者の増加、自転車競技部をはじめとするクラブ活動における優秀な成績、ものづくり技術を活用した地域貢献や地域連携などはまさに努力の賜物だと確信しています。もちろんそれに応えて頑張っている在学生の皆さんにも敬意を表したいと思います。頑張っている在校生のためにも少しでも力になれる同窓会でありたいと思っております。

最後になりますが、母校に役立つ同窓会の構築と更なる発展のために、微力ではございますが会員同士の親睦を深めながら、同窓会の運営に尽くしていきたいと考えております。何卒引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中学3年生と保護者を対象とした「学校公開スケジュール」のお知らせ

10月21日(土)	11月25日(土)	学校説明会 (自由参加)
オープンスクール (自由参加)	実習体験 (事前申し込み必要)	第2回 12月9日(土)
第1回学校説明会 (自由参加)		第3回 1月13日(土)

※ 詳しくは茨木工科高校ホームページをご覧ください。

ごあいさつ



校長 田尻 肇

昨年度、第16代校長に着任いたしました田尻肇と申します。茨陵会の皆様には、平素より本校教育活動にご理解ご支援をいただきありがとうございます。

まず、着任して感じたのは、本校を愛する先生方、熱意のある先生方が多いということと、独自のカリキュラムにより多くの生徒が国家資格や検定に合格するなど、生徒が3年間で着実に力をつけているということです。昨年度初めてとなる卒業生を出した工学系大学進学専科の生徒も、進学対策のカリキュラムと少人数のきめ細かい指導の成果が実り、国公立大学をはじめ素晴らしい進路実績を残しま

した。

また、部活動においても、毎年のように全国大会に出場し活躍している自転車競技部や強豪チームがひしめく大阪で今年度ベスト32に進出した野球部、実業総体で毎年のように入賞するテニス部、缶サット甲子園全国大会に出場した SST.R&D 部やロボット相撲全国大会に出場した機械研究部等、活躍は枚挙にいとまがありません。

しかし、このように元気な茨木工科高校が社会の変化に伴ったターニングポイントを迎えていることも確かです。

社会は、グローバル化、情報化など目覚ましいスピードで変化しています。2013年にオックスフォード大学が、「今後10年ほどで米国の労働市場における仕事の47%が人工知能もしくはロボットで置き換えられるリスクがある」という推測を示しました。すなわち、単に知識や技能だけを必要とする職業は機械に置き換えられ、人間にしかできない「人と協働する力」、「思考力」、「判断力」、「表現力」、「課題解決力」等を必要とする職業が生き残るということです。工業教育においても、歴史と伝統の中で培ってきた「ものづくり」の知識や技能の習得を継承発展しながらも、このような社会の変化に対応し、生き抜いていく力をどう育成するかが喫緊の課題となっています。同窓会の先輩方には、今後とも引き続き本校教育の発展に向けて一層のご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

ごあいさつ 教頭 杉山 裕二



茨陵会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校教育活動に何かとご協力、ご支援をいただき有難うございます。

さて、前回の同窓会新聞発行(2017.10.10)で着任のご挨拶をさせていただきました、杉山裕二と申します。

本校は、創立から55年が経過し、この間大きな変革がありました。平成17年には工業高校から工科高校へと改編し、科別の入試から総合募集に変わりました。また、科から系に移りより専門性に特化するための専科が設けられました。平成26年にはさらなる改編で、従来の工業高校としての強みである就職に加え、大学進学にも力を入れる工

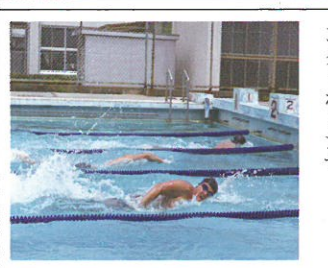
学系(理工系大学進学クラス)が設置されました。

生徒への進路保障については、新たな就職先の確保に向けて、全教職員が企業訪問を行い、開拓に向けて努力しています。この成果もあり就職率は毎年100%を維持しています。また、昨年度工学系の1期生が卒業し、素晴らしい進路実績を残してくれました。

茨工の動向や在校生の様子については、本年度に全面リニューアルしました学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

本校のさらなる発展のためには、保護者・同窓会・地域の方々のご支援がなくてはなりません。最後になりましたが、茨陵会の皆様には、今後も色々な面で何かとお世話になることが多いと存じますが、どうかよろしく願いいたします。

部活動(運動部)

	「サッカー部」 主顧問 井上寛一 部員数 十二名 1年生が8名入部し、部員が増えたことで今まで以上に活気づいて活動しています。 今年度からユニフォームを一新し、公式戦参加に向けて日々練習に励んでいます。	「バレーボール部」 主顧問 大橋 有 部員数 十五名 今年度、一年生の入部に伴いユニフォームを新調し、大会に参加させていたくようになり、まだまだ実力はあきませんが、一生懸命がんばっています。 8月5日茨木市長杯に初出場初戦敗退(8月26日第28回北摂バレーボール大会に出場)
	「陸上競技部」 主顧問 高崎賢一 部員数 十二名 大阪1日や大阪高校総体にも地区予選を突破して出場者を出しており、総体では5000m Wで5位入賞を果たすなど、成果をあげています。	「山岳部」 主顧問 古和 武 部員数 六名 現在、部員は少ないながらも月に一回の登山や関西最高峰での合宿に向けて前向きに練習に取り組んでいる。
	「柔道部」 主顧問 中村恵明 部員数 九名 茨木市市民大会では無段の部、女子の部ともに優勝。北地区柔道大会2年生の部では3位と各大会で結果が出ています。全国大会や実業大会では善戦できるよう頑張っています。	「硬式テニス部」 主顧問 井上直人 部員数 十七名 29年度の実業総体では、個人戦にシングル・ダブルス共に3位入賞しました。大勢のOBの指導と援助のおかげだと思っています。もともと良い結果を目指し日々努力しています。
	「水泳部」 主顧問 村瀬径介 部員数 八名 1年を中心によくまとまったチームワークを重視したクラブです。審査前には勉強会を実施するなど文武両道を目指しています。 活動は年間を通して行いますが、夏季は水泳練習、冬季は陸上トレーニングとなります。	「硬式野球部」 主顧問 東郷真明 部員数 十八名 「つながり」をテーマに日々努力し続けています。今年度夏の選手権大会では大阪32強に入り活躍しています。
	「卓球部」 主顧問 田所大毅 部員数 五名 火曜日の放課後と土曜日に活動しています。最近の大会では、シングルの大会で2年生が3回戦進出を果たしました。	「剣道部」 主顧問 武智弘樹 部員数 七名 七名で活動中です。実業大会の優勝をめざして日々、練習をしています。
	「バドミントン部」 主顧問 柴田優介 部員数 九名 夏に行われた夏季総体と実業大会ともに成果は残念な結果であった。次の大会に向けてこれからも練習を頑張ります。	「ハンドボール部」 主顧問 濱田周吾 部員数 十三名 今夏の実業総体で3位入賞。今年度は新たに4名入部し、大会に向けて夏の炎天下のなか練習に励みました。いつも応援ありがとうございます。今後も精一杯がんばります。
	「バスケットボール部」 主顧問 石山雄啓部 部員数 七名 8月に実業総体があり、予選リーグ2勝1敗で、2位で通過しましたが、目標のベスト8にはあと一歩及びませんでした。3年生が引退し、新チームも大会に向け頑張っています。	「自転車競技部」 主顧問 森谷哲也 部員数 十一名 平成29年度インターハイケイリン2位・全国都道府県対抗自転車競技大会 個人ロード7位・大阪代表として国体出場3名 頑張っています。

部活動(文化部)



夏休み中に大阪市立美術館で開催された「高校展」において、機械系3年近藤尚が優秀賞、電気系3年大庭拓也が奨励賞を受賞することが出来ました。両名の作品は第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会」に大阪代表として出品されました。

「美術部」

主顧問 宮崎さや
部員数 十名



大阪軽音楽連盟に加盟しており、連盟主催のLIVEや他行との交流会、楽器製作やLIVE開催、資格取得など幅広く活動しています。練習は平日放課後、週末は土日のどちらかです。

「軽音楽部」
主顧問 岸本圭司
部員数 九名



今のカメラと言えばデジタル式が主流です。写真の大きさを引き延ばすためにフィルム式の白黒写真にフィルムカメラで撮影するときは、デジタルカメラの時に比べ、一枚に気持が込められています。

「写真部」

主顧問 高林正幸
部員数 七名



調理部は毎週金曜日に活動しています。仲間とワイワイ料理をしていくユルユルクラブです。今年の文化祭はお好み焼きです。ぜひ、お越しください。

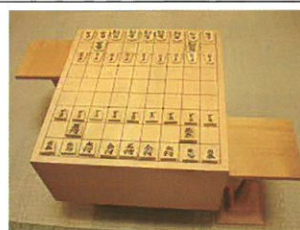
「調理部」
主顧問 清水晶子
部員数 二十名



体育祭や文化祭等の行事のパンフレットのイラストを担当しています。今後は作品展などにも参加できればと思います。

「漫画研究部」

主顧問 中川京美
部員数 七名



6月の大阪府の選手権大会では男子個人戦C級にて、優勝の戦績を残しました。

「将棋部」
主顧問 服部高明
部員数 十七名



積極的に活動する部員が多く、今年はこれまでスーパードライや果皮からの油脂の抽出、キレート滴定、赤外可視光吸収スペクトル測定などを行ってきました。

「環境倶楽部」

主顧問 津村明寿
部員数 九名



スペースサイエンステクノロジ部では、缶ラット・ロケットの研究開発、全国工業校長協会の人工衛星の部品製作校などをして活躍しています。

「SST-R&D」
主顧問 清水至中
部員数 十九名



今年で4年目です。毎年8月にジオラマ製作鉄道模型コンテストへ出品をし、11月の文化祭も頑張っています。また今年は茨木市中央図書館と「茨木工科展」で展示と走行体験を行いました。

「鉄道研究部」

主顧問 井上弘司
部員数 十六名



私たち機械研究部は、ものづくりが好きな生徒が集まって活動しているクラブです。8月6日(日)鈴鹿サーキットEne-TCR、10月22日(日)全国ロボット相撲大会近畿大会、11月23日(祝)エコデレースに出場します。

「機械研究部」
主顧問 山田仁史
部員数 十七名



自主ゲームの作成や動画編集、文化祭でレーザー加工機による商品を販売しています。

「コンピュータ部」

主顧問 中村隆夫
部員数 十一名



アマチュア無線を主に活動しています。今回7月15日に関西アマチュア無線フェスティバルに参加しました。他にも無線イベント等にスタッフとして参加しています。

「無線部」
主顧問 赤穂和則
部員数 十八名



昨年度の文化祭で公演を行って以来目立った活動はありませんでした。今年度の文化祭に向けて準備中です。

「演劇部」

主顧問 河野吉則
部員数 三名



トピックス

茨木工科高校展 in 市立青少年センター（川端康成館）

9月2日、3日の両日、茨本市立青少年センターで茨木工科高校の文科系クラブの生徒たちが、日頃の成果を広く知っていただこうと展示会を開催いたしました。両日ともに多くの地域の方々に来場していただき、生徒たちも熱心に説明し、汗を流していました。



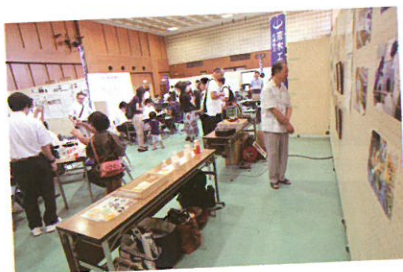
市立青少年センター



空中に文字を浮かび上がらせるバーサライタ



受付も生徒たちで運営



たくさんの展示と体験



機械系 3D プリンター実演



機械研究部 自作 EV



鉄道模型にお子さんも喜ぶ



見学者も興味津々



美術部のコーナー



茨木工科高校どう？



化学の実験・体験



クリップモーターとは？

茨陵会 常任理事会より

平成 29 年 6 月 24 日（土） 午後 1 時より母校にて
常任理事会を開催しました。

本津会長をはじめ 9 名の方々が出席され、下記の議題を
検討されました。

議 題

- 1 平成 28 年度会計決算について
- 2 平成 29 年度会計予算について
- 3 平成 29 年度役割分担について
- 4 平成 29 年度卒業記念について
- 5 新聞発行について
- 6 その他（ホームページ更新についてなど）



決算報告

平成28年度茨陵会決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
前年度繰越金	3,635,105	3,635,105	0	
会 費	1,560,000	1,540,500	19,500	6500×237名
雑 収 入	395	34	361	利子
新聞賛助金	0	0	0	
合 計	5,195,500	5,175,639	19,861	

支出の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
総 会 費	10,000	0	10,000	まんじゅう・お茶
通 信 費	50,000	34,164	15,836	切手・文化祭案内
印 刷 費	50,000	0	50,000	文化祭案内印刷
慶 弔 費	100,000	70,000	30,000	銭別金・クラブ
会 合 費	70,000	29,968	40,032	理事会等
事 務 費	180,000	21,392	158,608	遠路ハガキ・更新料等
新入会員歓迎費	250,000	240,540	9,460	認め印鑑
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	4,480,500	0	4,480,500	
新聞発行費	0	0	0	
合 計	5,190,500	396,064	4,794,436	

次年度繰越金		4,779,575	
--------	--	-----------	--

平成29年5月13日

上記の通り決算報告をします。

大阪府立茨木工科高等学校茨陵会会計 上 迫 真理子

監査の結果適正に処理されていたことを認めます。

茨 陵 会 会 計 監 査 時 久 加 代

平成29年度 茨陵会予算書

収入の部

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	付 記
前年度繰越金	4,779,575	3,635,105	1,144,470	
会 費	1,501,500	1,560,000	▲ 58,500	6500×231名
雑 収 入	45	395	▲ 350	利子他
新聞賛助金	0	0	0	
合 計	6,281,120	5,195,500	1,085,620	

支出の部

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	付 記
総 会 費	10,000	10,000	0	総会時お茶菓子
通 信 費	50,000	50,000	0	ハガキ代・郵送費
印 刷 費	50,000	50,000	0	案内ハガキ印刷費
慶 弔 費	100,000	100,000	0	銭別金・慶弔費
会 合 費	70,000	70,000	0	理事会他
事 務 費	180,000	180,000	0	トナー代
新入会員歓迎費	250,000	250,000	0	認め印鑑
積 立 金	0	0	0	
新聞発行費	1,200,000	0	1,200,000	
予 備 費	4,371,120	4,480,500	▲ 109,380	
合 計	6,281,120	5,190,500	1,090,620	

新聞発行に際して、ご寄付のお願い

平素は、本会の運営にご支援、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。同窓会新聞も今回で第9号となりました。皆様方からは、毎号多大なるご寄付をいただき、順調に新聞を発行できておりますことを、常任理事一同、感謝いたしております。

誠に申し訳ありませんが、今回も1口1000円として、何口でも結構ですので、同封の振込用紙にて、新聞発行費用にご支援いただければ幸いです。（振込手数料はかかりません）

毎回卒業生の皆様に大変な負担を強いることとなりますが、事情と趣旨をご理解いただき、何卒ご協力の程、宜しくお願いいたします。

離任された先生・職員

平成 28 年度

教 科	氏 名	転出先
校 長	辻井 安喜	ご退職
国 語	上杉 文雄	西寝屋川高校
社 会	西村 理子	刀根山高校
数 学	栗田 泰典	茨木西高校
機 械	田上 典生	ご退職
機 械	清水 俊史	ご退職
機 械	塩見 圭祐	教育委員会事務局
環 境	西尾 典之	教育委員会事務局
環 境	西岡 邦英	とりかい高等支援学校
環 境	河本 大毅	ご退職

平成 29 年度

教 科	氏 名	転出先
事 務	小原 徳也	山田高校
国 語	中谷 幸代	福井高校
社 会	小野真理子	春日丘高校
社 会	古田 透	ご退職
数 学	田村 亮太	春日丘高校
保健体育	村林 隆志	教育庁
英 語	原田 恵	刀根山支援学校
家 庭	河村 綾子	阿武野高校
養 護	細川 美穂	北摂つばさ高校
機 械	山家 真	ご退職

卒業生数

大阪府立茨木工業高校（1～42期）

卒業生総数

機械工学科	6,393名
電子工業科	4,175名
工業化学科	2,004名
環境化学科	507名
計	13,079名

大阪府立茨木工科高校（1～10期）

卒業生総数

機械系	1,104名
電気系	601名
環境化学システム系	497名
工学系	26名
計	2,228名

編集後記

この度、初めて茨陵会新聞の編集を担当することになりました。慣れないことで、母校のことが主な内容になってしまい卒業生の記事が少ないことを反省している次第です。

母校での思い出や同窓会でのエピソード、近況などを掲載していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年も残りわずかではございますが、茨陵会の皆様方のますますのご健康とご活躍、そして母校の発展を祈念して編集後記といたします。

高嶋 保（工業07期M科卒）

